

平成21年

港区ごみ減量優良事業者等表彰 受賞者の紹介

受賞者

- 佐鳥ビル
- 汐留シティセンター
- 田町センタービルピアタ会

(五十音順)



港区は、都心区という地域特性から、区全体のごみの80%以上が事業者から排出される「事業系ごみ」です。港区において、ごみ減量を着実に進めるためには、事業者による「積極的なごみの発生抑制」、「リサイクル（資源化）への取り組み」が重要であり、不可欠となっています。

そこで、事業系ごみの減量・資源化に積極的な取り組みをしている事業所又は団体を表彰し、その功績をたたえ、ごみの減量・資源化の一層の推進に資することを目的として、このたび、ごみ減量優良事業者等の表彰制度を創設しました。

港

区

受賞者	佐鳥電機株式会社
延床面積	5,033.99 m ²
廃棄物発生量	23.5 t / 年
再利用量	18.9 t / 年
再利用率	80.4%

(平成20年度実績)



表彰理由

佐鳥電機株式会社をはじめとするグループ企業が入居するオフィスビルです。

佐鳥電機はISO14001を取得するなど、環境問題に積極的に取り組んでいます。廃棄物の分別も徹底しており、フロアごとに担当者を選任し、ごみ分別状況を確認しています。また、各自の机周りからごみ箱を撤去し、一人一人が、分別容器で分別をしています。

ごみの発生抑制についても、イントラネットの活用、マイカップの持参など積極的に取り組んでいます。また、グリーン購入を取り入れるなど、再生品の積極的な利用を行っています。

ISO事務局を設置し、ことあるごとに各部署の担当者にイントラネットを利用し、ごみの排出状況や環境問題についての情報を提供しています。

このように、社員レベルまで浸透した取り組みにより成果をあげていることは、高く評価されます。

受賞者の声

当社では、ISO14001を基軸とした環境マネジメントシステム（EMS）を構築し、省資源や省エネなど、様々な環境改善活動に取り組んでいます。

「廃棄物の減量とリサイクルの推進」につきましても、このEMSの枠組みの中で、3Rの視点に基づいて改善を図って参りました。例えば、コピー用紙の裏面利用、郵送されてきた封筒や梱包材の再利用、縮小コピーの奨励、分別廃棄の徹底、マイカップの奨励、ペットボトルキャップの有効利用（ボランティア団体への寄付）、再生材を使用した文房具等の積極的な購入等々、些細なことではありますが、確実に取り組んでいます。また、部署毎に、業務効率の向上に関する年度目標を設定し、業務上発生する廃棄物の減量化にも取り組んでいます。そして、これらの活動が確実に実施されていることを、「定期的な内部監査で確認し不備があれば是正する」、という仕組みの中で定着化を図っております。

一方で、このような活動を推進していくためには、社員の環境意識や情報の共有化も重要になります。この為、新入社員や中途入社社員への環境教育の実施、3Rの重要性や廃棄物処理法（社内イントラネットに法律・条例等を掲載）の概要等に関する啓発活動を展開しております。また、廃棄物処理手順やフロア毎に集計した廃棄物排出量の実績推移など、様々な情報を全社員に発信し共有化を図っております。

この度の受賞は、当社の活動を高く評価して頂いた結果であり、大変光栄に思うとともに、「廃棄物の減量とリサイクルの推進」の大切さを再認識する良い機会となりました。日常の業務を改善することによって廃棄物の減量化を図ることが、継続的な減量化を可能にするものと考えております。今後も、基本に忠実に確かな取り組みを継続し、また、日常の業務を改善することで、事業と環境の両立を図っていく所存です。

汐留シティセンター

港区東新橋一丁目5番2号

受賞者	三井不動産株式会社
延床面積	187,757.01 m ²
廃棄物発生量	1,310.4 t / 年
再利用率	924.8 t / 年
再利用率	70.6%

(平成20年度実績)



表彰理由

一般的に、業種の異なる多数のテナントが入居するテナントビルは、廃棄物の発生抑制や分別、処理などについて統一的な取り組みを行うことが困難な場合が多いとされます。

汐留シティセンターは、区内有数の事業用大規模建築物のひとつですが、このような大型の複合テナントビルであるにもかかわらず、ビルとして積極的にごみ減量やリサイクルに取り組んでいます。

多くの飲食店、店舗が入居しているにもかかわらず、厨芥（生ごみ）のリサイクルをはじめ、発泡スチロール、蛍光灯、乾電池、食用油、廃プラスチック等のリサイクルにも取り組み、70%を超えるリサイクル率を達成していることは特筆すべきことです。

このことは、廃棄物量やリサイクル率のテナントへの伝達、分別状況が良くない状況を撮影して店長会議への報告などのさまざまな取り組みや工夫の成果であると言えます。

受賞者の声

汐留シティセンターは、平成15年1月に竣工した汐留地区銀座側に位置するエメラルドグリーン色の高層ビルです。地上43階・地下4階であり、事務所24社、医療機関2機関、店舗22店、飲食店舗42店が入居する複合テナントビルで、ビル在館人員は約1万人です。

廃棄物処理体制と再利用率向上への取り組みについて

- (1) 事務所階では、階別・テナント別・種類別に毎日廃棄物計量を実施。廃棄物量と再利用率を毎月要請テナントに通知し、再利用率が悪い階のゴミ箱配置方法などを改善いたしました。
- (2) 店舗階では、分別の仕方が悪く再利用出来ない廃棄物を写真撮影し、毎月実施する店長会等で配布。分別徹底を呼び掛けました。
- (3) 分別が判り易く行えるよう写真入りリサイクル表を作成し、テナントに配布。テナントは外国人も多いので、リサイクル表は英語・中国語・韓国語版も作成しました。
- (4) 平成19年度より生ごみの再利用（飼料化）を開始しました。

上記取り組みの甲斐あり、再利用率は平成18年度59.5%、平成19年度63.5%、平成20年度70.6%と年々改善し、現在では70%台を常に保持することが出来るようになりました。

今回の受賞は、入居テナント各社のご理解・ご協力とビル清掃員の真摯な取り組みのお陰であり、誠に感謝しております。

今年度よりテナントとビル所有者が協力してCO₂削減について取り組むことが義務づけられましたが、廃棄物管理についても、常に3Rを原則に、更なる再利用率向上を目指し、一丸となって努力して参りたいと存じます。

田町センタービルピアタ会

港区芝五丁目3 4 番7号

受賞者	田町センタービルピアタ会
延床面積	32,996 m ²
廃棄物発生量	811.1 t／年
再利用量	598.5 t／年
再利用率	73.8%

(平成20年度 田町センタービル実績)



表彰理由

田町センタービルに入居する店舗により構成される商店会です。

より広範なりサイクルルートを持つ廃棄物処理業者への変更、個別計量システムの導入など、廃棄物の分別・減量化、リサイクルの推進に積極的な取り組みを進めています。また、廃棄物のデータを全店舗に送付し、発生抑制、リサイクル推進のための資料として役立てています。

また、会員への意識付けに関しても積極的に取り組む意欲が見られ、より一層の成果を上げていくことが期待できます。

このように、廃棄物の発生抑制やリサイクルに関する意識は高く、商店会としての取り組みは大いに評価されるべきものがあり、今後は、港区の商店会における取り組みのさきがけとして活動を続けていただくことを期待いたします。

受賞者の声

この度は港区ごみ減量優良事業者として、受賞を頂きまして厚く御礼申し上げます。

私たちは、商店街としてのごみ減量に対する活動に対し、表彰を頂きました。

ピアタ会は、25年程前田町駅西口再開発事業の一環で35名の地権者の下、平成6年に田町センタービルが竣工し、ビル内商店街として発足致しました。

田町センタービルは、事務所を中心とした高層棟と商業ゾーンの低層棟との複合施設からなる商業ビルであり、ビル管理は、権利者で構成される田町センタービル管理が行っております。

廃棄物処理もビル管理計画の下で計画され、平成20年に「個別計量システムを導入」(各店舗にバーコードシールを配布、廃棄物の分類ごとにシールを貼り、ごみ置き場に持参、係員が店舗分類ごとに計量し個別データを作成)前年対比表を各店舗に提供し、ごみの分別、減量化に取り組み始めたところです。

ピアタ会の前身は、駅前商店、飲食店の集まったごく普通の商店街で、田町商栄会として商店街活動をしていましたが、再開発により横型商店街から縦型商店街と変わり、駅前商業施設という立地を踏まえた新たな商店街活動に取り組み始めたところです。

今後は、会員の環境意識を高めることが重要と考え、物販店は分別、飲食店は生ごみの水切りを徹底させる啓蒙活動を実施し、個別データを利用した減量達成店舗へのメ리트作りも考えて行きたいと思っております。

今回の受賞を機に、上部団体の港区商店街連合会と連携し、環境問題等地域に貢献できる商店街を目指し活動を進めたいと考えております。